

住民説明会後にいただいた意見

1. 安全対策

番号	意見概要
1	宍道断層と鳥取沖断層は連動する
2	イソコン（IC）を実際に作動させることは事前にできないので原発の即時廃炉を希望する
3	地震や火山灰により送水車を配置できない場合の対策もしっかり取ってほしい
4	規制強化により放射性物質の外部拡散は大幅に少なくなったと思う
5	常駐体制 45 名では大地震発生時に対応できない
6	テロに対する住民安全対策が必要だと思う
7	テロ対策と自然災害の複合対策も考えるべき
8	島根半島に迎撃用ミサイル基地の設置を求める
9	ミサイル等国家間の紛争への対応について想定しておく必要がある
10	中国電力は原発を運転する技術的能力、資質がなく、今後の設計及び工事計画認可、保安規定変更認可をすべきでない
11	中国電力の信頼が回復されたとは言いがたい
12	中国電力の不祥事は第三者でチェックし、公表するべき
13	発電所のモラルを審査に加えるべき
14	中電は、事故時に対応する職員の教育訓練を十分にすることを望む
15	リスクが残る原子力発電所は危険である、再稼働を認めないことを希望する
16	安全は絶対的なものではなく、原子力発電所は合理的ではない
17	福島原発事故以上の天災に対応できないなら運転すべきでない
18	安全性が 100%補償されるものではない、事故はいつ起こるかわからない、原発は全廃すべき
19	許可条件を時代の流れに合わせて追加等する必要がある

番号	意見概要
20	放射性物質の汚染の可能性がゼロでないのであれば原子力発電はやめるべき
21	電力会社の利益第一主義は信用できない、どんな対策をとられても原発の怖さは拭いきれないので原発は動かしてはならない
22	安全対策はいろいろ考えているが、危険を伴う発電である原子力発電はやめて欲しい
23	中電は原発の運転資質がない

2. 避難対策

番号	意見概要
1	避難について、まず何をしてどこへ行くのかの周知徹底を希望する
2	避難に関する情報発信について、携帯電話などが使えない方のことも考えた対応を希望する
3	避難の住民安心感を高めることが必要
4	事故時の避難計画をエリア毎に定めて、説明会で意識させるべき
5	市町村単位の防災教育をすべき
6	屋内退避は、十分な根拠が不可欠である
7	個々の人の避難について住民に伝わっていない
8	高齢になってから、他地域への長期避難はしたくない
9	避難先の具体的な場所、施設等が知りたい
10	屋内退避を素直にする人は少ないと考える
11	放射線障害に対する医療体制について分かり易く周知して欲しい
12	住民がパニックになれば避難はできない
13	県・市の避難対応マニュアルについて住民にわかりやすく説明すべき
14	安来市に限定した避難計画を説明して欲しい
15	屋内退避が不安
16	内閣府の風向きの説明は大雑把で科学的でない
17	仮に事故が起こった場合、風向きなどの情報を公開して欲しい
18	風向きをハザードマップに取り入れるべき
19	防災充実のため防衛費・自衛隊の充実、強化を希望する
20	避難先との交流はプラスになっているが、雪深い地域から雪深い地域への避難に不安を感じる
21	避難は空輸も考えるべき

番号	意見概要
22	道路の問題とテロ対策が不十分で納得できない
23	鹿島地域の国土強靱化に努めてほしい
24	道が少なすぎるので実態に即した避難計画を希望する
25	避難時に片側1車線ではなく緊急時の通行を検討すべき
26	避難手段として鉄道を利用するために木次線の強化を望む
27	除染（スクリーニング）の基準が高い
28	30km以上の地域についても、すぐに逃げないといけなくなった時の対策をするべき
29	感染症の避難について感染者、濃厚接触者の避難は現実にできない
30	住民の意見を聞いて避難計画を作るべき
31	定期的に訓練を実施することが必要
32	避難計画の実効性に疑問が有る
33	避難計画の定期的な見直しが必要
34	避難計画は説明を聞いても十分な計画とは思えない
35	国の交付金を原子力防災に充てるべき
36	避難計画の実現性は低い、机上のプランに過ぎない
37	避難後の島根の再生は支援はしてくれるのか、これからも島根に住めることを願っている
38	避難が長期化した場合の説明をするべき
39	県庁、松江市役所が10km県内に立地しているのは問題である
40	避難時の中国電力補償額は少なすぎるので、大幅な改善をお願いしたい
41	原子力災害時には中国電力は立地自治体にあらゆる協力を考える必要がある
42	避難対策を講じてまで原発は必要か疑問である

3. エネルギー政策

番号	意見概要
1	世界が再生可能エネルギーに転じている中で危険な原発を継続する必要はない
2	一日も早く再稼働をして地域の活性化に努めて欲しい
3	説明会を重ね、理解を得た上で再稼働を希望する
4	原子力を使わなくてもよいなら、稼働は反対。現時点では再稼働を認めないことを希望する
5	原子力発電は住民の命・安全を守るエネルギーにならないと感じた
6	カーボンニュートラル達成のために原発稼働を引き合いにだすのはおかしい
7	原子力の社会的信頼を獲得する必要がある
8	子供達の安全・安心な未来のために原発を動かすべきではない
9	国はエネルギー政策をきちんと説明すべきである
10	原子力発電所は即時廃止するべきだ
11	説明を聞いても納得ができない、原発が必要なのか疑問
12	原子力発電の信頼向上のためには国は外部組織でも検討してもらった方がいいのではないか
13	原子力発電の必要性は多くの専門家で検討・公表される仕組みがあればよい
14	原子力の必要性は国が責任をもって国民に説明すべき
15	なぜ原発が必要なかわからない
16	十分に検討して、できれば廃止してほしい
17	島根原発は廃炉すべきである
18	原発から撤退にかじを切ることが必要だ
19	原発は危険すぎるのでベースロード電源とすべきでない
20	再稼働はやめるべき

番号	意見概要
21	2号機と3号機の稼働を早期に実現すべき、稼働に時間がかかれば、経年劣化が進む
22	中国電力が事故後に補償ができるとは思えない、原発は国の責任だ
23	いろいろ説明を受けても原発の稼働には反対
24	日本のエネルギー安定確保や地域の活力など広い視点から判断して現状では再稼働させるべき
25	再生可能エネルギーに目途がついたら原子力は停止すべき
26	原子力の最終的な発電コストを示すべき、再生可能エネルギーを主流にすべき
27	原発の稼働は是非やめて欲しい
28	再稼働のための労力やお金を考えると原発はなくすべき
29	原発のコスト試算について先が見通せていない
30	万が一の事故の際には最終的に国が責任を負うのか、原子力発電が安価とは思えずエネルギー政策としていかがなものか
31	今日の電力は原発がなくても維持されており、島根に原発はいらない
32	原発から太陽光へ舵を取ることを希望する
33	事故が起こらないとは言い切れず、原発から再生エネルギーに転換していく必要がある
34	中国電力は再生可能エネルギーの研究への支援をして欲しい
35	風力も太陽光も景観に配慮をしなければいけない、乱立はなげかわしい
36	早く自然エネルギーに方針転換してもらいたい
37	早期に原発を廃止し、新たなエネルギー開発に取り組むべき
38	原発に変わるエネルギーを進めて行くべき
39	風力発電に費用をかけ、原発を止めて欲しい
40	中電は再生エネルギーへの切り替えを大胆に行うべき
41	中電は原子力から再生可能エネルギーに転換すべき
42	現代のエネルギー事情を考えると、原発は必要であると思う、その他のエネルギーも含めて、さらなる科学的な進化も期待する

番号	意見概要
43	エネルギー確保、CO ₂ 削減のために島根2号機の再稼働が必要と考える
44	再生可能エネルギーは各種あり一長一短、原子力発電所なしでは経済が成り立たない
45	使用済燃料を埋める以外の方法で処理できないのであれば再稼働は現実的でない
46	最終処分が決まっていないため、再稼働をすべきでない
47	安全対策や環境問題を踏まえた上で再稼働には賛成であり、電気代引き下げ、安定供給、地元企業の発展等の効果を期待している
48	重層的な全対策が講じられており、安定した電源を確保するためにも早期の運転を望む
49	稼働を行い、利益を避難路の建設等に活かすべき
50	建設工事等での地元への発注等に見直すべき
51	安定エネルギー源である、質の高い持続性のある電気であるため、原子力発電の早期稼働を望む、併せて高度な訓練を受けた技術者の養成も必要
52	安全が確保されているので再稼働に賛成する

4. その他

番号	意見概要
1	市民投票を行いその結果を参考にするべき
2	形だけ説明会をしたことにしようとしていると感じた、住民投票を実施し、理解なくしては絶対に動かすべきではない
3	住民投票条例を新設して欲しい
4	行政が地域に出向き地域住民と対話を重ねるべき
5	説明会を開催している場所に合わせた説明を希望する
6	反対側の意見を聞く場を希望する
7	安全性、必要性、避難計画、核ゴミ問題等をどう考え総合的判断したかの説明を希望する
8	小さい団体、学校、集落単位での身近な説明会を希望する
9	複数回の説明会を希望する
10	説明したことをもって、再稼働ということになるだろう
11	再稼働が決定する前の安定ヨウ素剤の配布は稼働を前提とした配布ではないか
12	質問に対しての回答は明確だった。繰り返し説明し、理解を得られるよう期待する
13	知事・市長は未来の子供達のために再稼働可否を判断してもらいたい
14	説明の場を増やすなど丁寧に対応してほしい
15	反対する意見を聞くべきだ
16	審査結果については専門的で多岐にわたるため、住民が理解できるような方法を検討すべきである
17	内閣府が質問に回答していない
18	お互いが理解できるように話し合いの場所・時間が必要
19	自治体は交付金の活用状況を周知すべき
20	福島原発事故で発生した処理水を東京湾で放出できないのは国民に対して無責任

番号	意見概要
21	一方的な説明ではない説明会を開催すべき
22	中国4県にも島根県民の電気代など、相応の負担をしてもらうべき
23	説明がスムーズだった
24	丁寧でわかりやすい説明だった
25	中電は本社・社長が松江に来るべき
26	もう少しわかりやすく説明してほしい
27	質問者に納得できるような回答をすべき
28	考える問題は多いが、今後住民として考えていくことが大切と思った
29	中国電力は自分の家庭を原発の中に住まわせるべき
30	説明会での順序として、原子力発電所の必要性の後に災害対応についての説明があるとよい
31	質問がだらだらしていた、一人一問を守って欲しい
32	県のHPからは説明会の情報が見つけにくく不親切だった
33	学校などで若い人に向けても発信していくべき
34	原発稼働ありきの説明会であり、分かり易いとは言えない、
35	説明はもう少し丁寧にゆっくりした方がよい
36	根本から反対の方に対して、細かな説明はあまり意味がない
37	質問時間が長すぎる
38	質疑応答がかみ合わず、長すぎる
39	説明を聞いたが、原子力発電は反対だ
40	厳しい審査なので放射線漏れが起こる理由がわからない
41	住民用にシェルターを作るべき
42	放射性物質が拡散した場合の詳細な説明や、地域住民の関心が寄せられる様な講演、説明会の頻度を多くするべき
43	住民目線ではなく国際基準がこうだからという回答で温かさが伝わらない

番号	意見概要
44	質問時間が1分では短い
45	懸念をもつ専門家の意見を聞く場を設けるべき
46	県や市は安全対策について専門家・住民の意見を聞くべき
47	住民の方の意見を聞く非常に良い機会だった
48	運用ルールについての審査が終わった時点で説明会を行うべき
49	100%安全でないということを自治体のHPで明記すべき
50	質問を公告や新聞でお知らせすべき
51	質問者が意見と質問の区別がついておらず長い、多くの人が平等に発言できるように進行してほしい
52	再稼働ありきの説明会に感じた
53	住民説明会を各地区でやってほしい
54	反対が前提の方（思想的立場が反対）の質問に不快感をもった
55	中電の説明と回答に誠実さが感じられ、正しい運用が期待できる
56	質問の時間が十分にあり理解できた
57	住民説明会を丁寧に行って欲しい、あとは議会と安全対策協議会で議論では県民・市民不在と言わざるを得ない
58	鳥取県でも住民説明会を開くべき
59	説明が膨大だった
60	県民・市民の意見を集めることを行うべき
61	しっかり質疑をして欲しい
62	説明会を小規模で行うべき
63	県・市と住民との話し合いの場を作って欲しい
64	十分に意見を聞いたと言えるものではない
65	説明会には若い世代の参加が少ないことが気になる